

HDM-10000

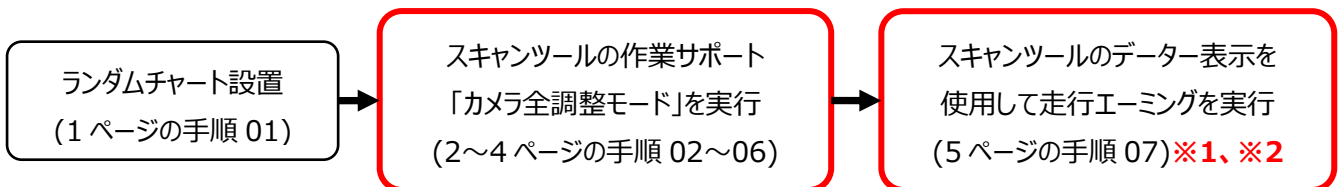
スバル車のステレオカメラのエーミング(フロントガラス交換を行った時)

**注意事項/必ずお読みください**

- 本書は日立ダイアグノスティックツール HDM-10000 用診断ソフトの診断機能の操作方法、活用事例について紹介するものです。自動車メーカー発行の整備解説書を代替するものではありません。
- 実際の作業にあたっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で正式な作業手順、注意事項をご参照のうえ、作業を行ってください。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更されるため、本資料で紹介する機能が使用できない場合があります。

1.スバル車のステレオカメラ(2014年6月~2022年9月のアイサイト Ver.3.00)のエーミング作業について

- フロントガラスの交換を行ったあと、スキャンツールを使用してステレオカメラのエーミング作業を行います。
- HDM-10000 の特殊機能メニューの「エーミング」から実行することでエーミング作業に必要な機能に素早くアクセスすることが可能です
- エーミング作業全体の流れは以下となります。



※1:走行エーミングを行う際、データ表示を注視しながらの運転は行わないでください。

※2:HDM-10000 本体をハンドルに立てかけた状態で運転を行わないでください。

2.HDM-10000 用スバルソフトによるエーミング作業手順(アイサイト Ver.3.00 での作業手順)

**【手順 01:車両前方へのランダムチャート設置】**

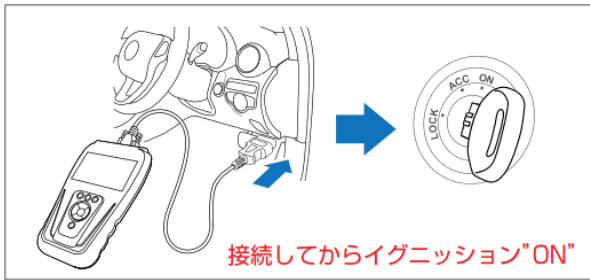
- ①整備解説書に記載の条件と車両状態、作業場所が適合しているか確認してください。
- ②整備解説書で指定されている車両ごとのランダムチャートを準備してください。
- ③整備解説書に記載の車両前方の設置位置にランダムチャートを設置してください。



ランダムチャートの例

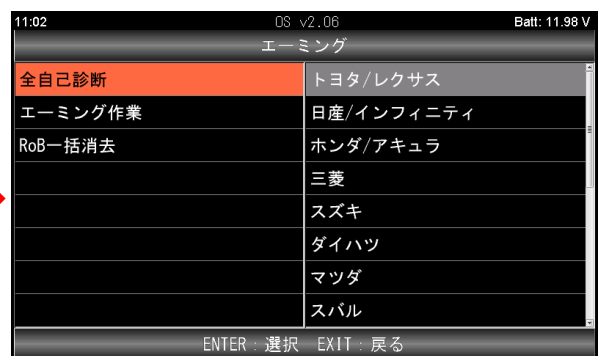
### 【手順 02:HDM-10000 の車両への接続と特殊機能の起動】

- ①HDM-10000 を車両側診断コネクタに接続してください。HDM-10000 が起動します。
- ②イグニッション ON にしてから 10 秒後に HDM-10000 メニュー内の特殊機能を選択して ENTER キーを押してください。



### 【手順 03:エーミング作業の選択からアプライドモデルの区分確認まで】

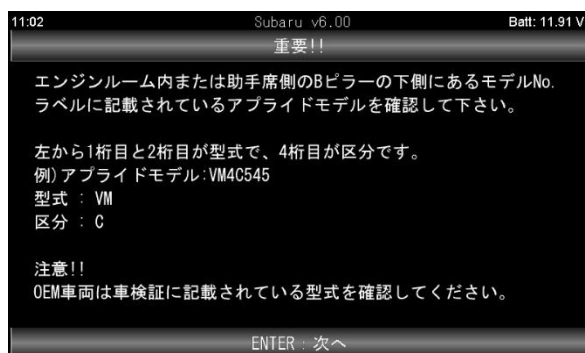
- ①特殊機能メニューでエーミングを選択して ENTER キーを押してください。エーミングの画面が表示されます。  
※素早くエーミング関連の作業サポートにアクセスする操作方法として特殊機能メニューから入る方法を紹介합니다。



- ②画面左側で「エーミング作業」を選択し、次に画面の右側でカーメーカーを選択して ENTER キーを押してください。

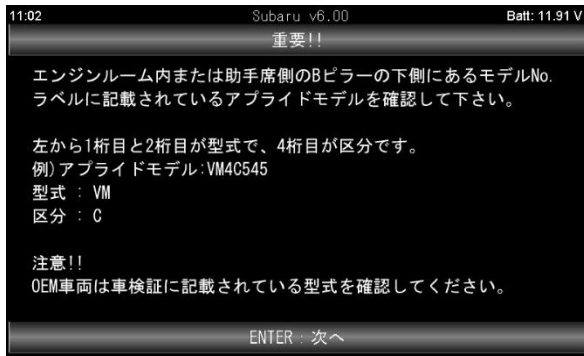


- ③アプライドモデルの解説画面が表示されます。解説を参照のうえ、車両に貼り付けられているモデル No ラベル内に記載のアプライドモデルの区分(左から4桁目のアルファベット)を確認してください(手順 04 の②で必要です)。



#### 【手順 04:車名の選択からエーミングの画面表示まで】

- ①アプライドモデルの区分が確認できたら ENTER キーを押してください。車名の画面が表示されたら該当する車名を選択して ENTER キーを押してください。

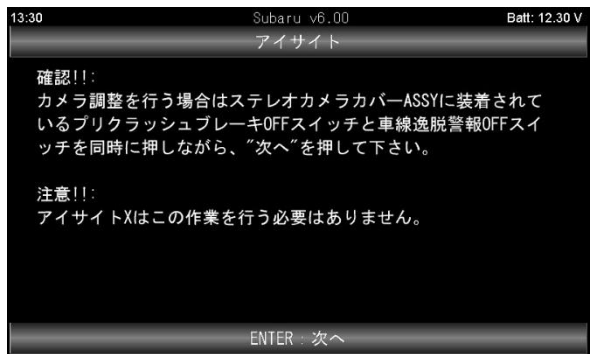


- ②車型の画面が表示されます。該当する車型と手順 03 の③で確認したアプライドモデルの区分の組み合わせを選択して ENTER キーを押してください。「車両搭載システム確認中」がしばらく表示されたあとエーミングモードの画面が表示されます。

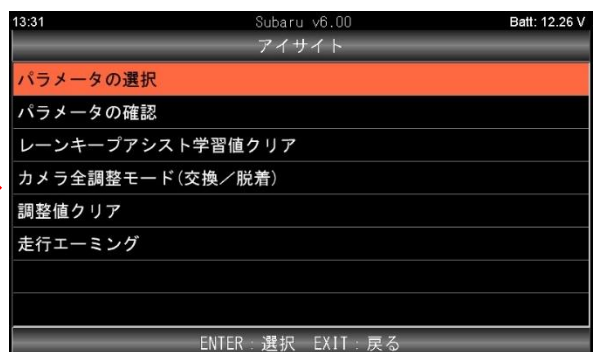
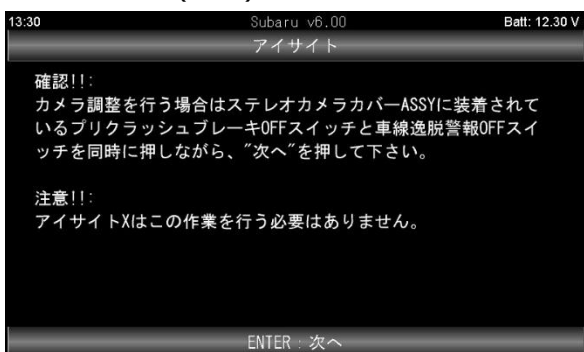


#### 【手順 05:アイサイトの機能選択画面の表示】

- ①エーミングモードの画面でアイサイトにカーソルを合わせて ENTER キーを押してください。「確認!!」が表示されます。

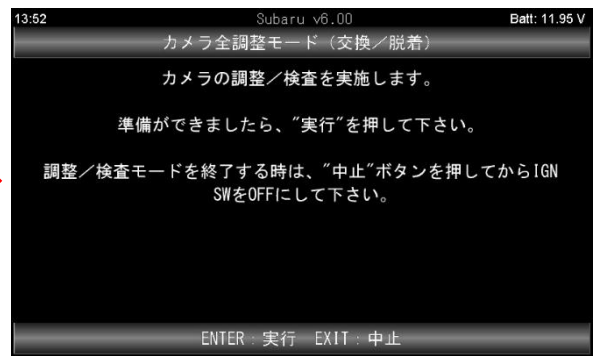


- ②「確認!!」の画面の解説のとおり車両側のブリクラッシュブレーキ OFF スwitchと車線逸脱警報 OFF スwitchを同時に押した状態で ENTER キーを押してください。「イニシャライズ中」の画面がしばらく表示されたあとアイサイトの機能選択画面(右図)が表示されます。

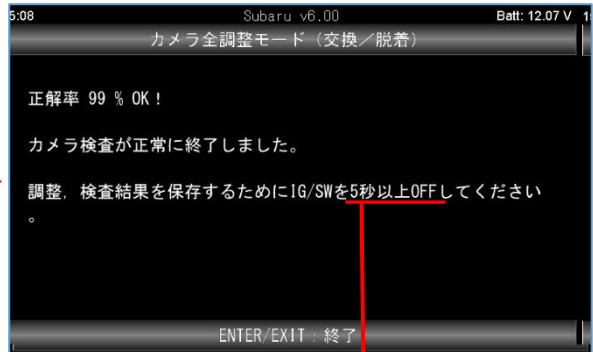
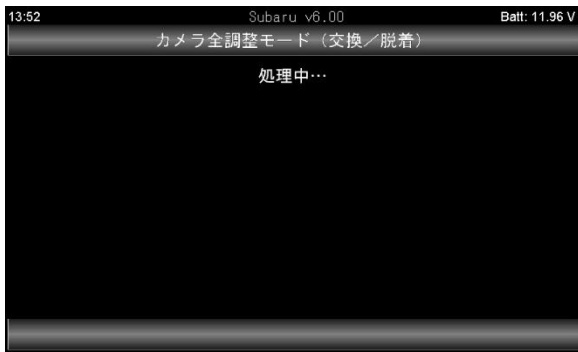


## 【手順 06:カメラ全調整モード(交換/脱着)の実行】

- ①機能選択の画面で「カメラ全調整モード(交換/脱着)」にカーソルを合わせて ENTER キーを押してください。  
次に「カメラ全調整モード(交換/脱着)」の画面が表示されたら ENTER キーを押してください。



- ②しばらく「処理中」が表示されたあと「正解率〇〇%」と表示されれば「カメラ全調整モード(交換/脱着)」は完了です。  
車両ごとの整備解説書に記載の時間でイグニッションスイッチを OFF(注記を参照してください)にして車両側への検査結果の保持を行ってください。



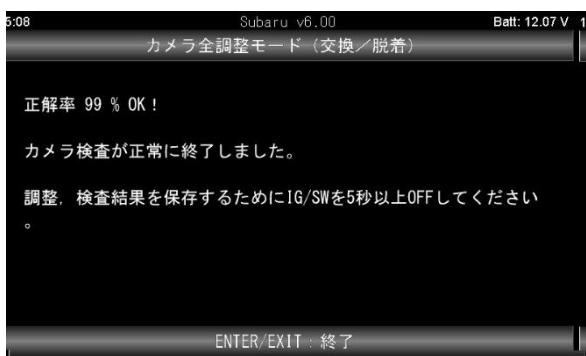
### 【注記】

画面内の「5 秒以上 OFF」の記述はアイサイト Ver2.00 搭載車(2014 年 6 月以前)を対象としている記述です。車両ごとの整備解説書に記載の時間でイグニッションスイッチ OFF を行ってください。

(次ページに続く)

### 【手順 07:走行エーミングの選択】

①検査結果の保持が完了したらイグニッションを ON にして ENTER キーを押して機能選択画面に戻ります。機能選択画面が表示されたら走行エーミングにカーソルを合わせて ENTER キーを押してください。



②走行エーミングの画面が表示されたらデータ表示にカーソルを合わせて ENTER キーを押してください。データ表示(右図)が実行されます。



③車両の実走行を行います。車両を整備解説書に記載されている状態に設定してから、データ表示(右図)の各項目が整備解説書に記載の値になるまで実走行を行ってください。**※1、※2、※3**  
データ表示の各項目の値が整備解説書に記載の値になればエーミング作業は完了です。



**※1:走行エーミングを行う際、データ表示を注視しながらの運転は行わないでください。**

**※2:HDM-10000 本体をハンドルに立てかけた状態で運転を行わないでください。**

**※3:データ表示画面での「自動調整状態」「車線認識状態」の値は「\$」の記号を含めて表示されますが、整備解説書では「\$」の記号が省略された状態で記載されております。**

(2024.12 発行)